



看護師長 荒木氏

看護師長 増本氏



リフレスマートラインのテープ止めタイプ、スマートフィットをお使いいただいている、大阪府羽曳野市の「医療法人昌円会 高村病院」様にご訪問させていただきました。

高村病院は、近年の医療改革や高齢者社会の到来により、医療・介護の形態が益々複雑化し、“医療の質の悪化”が起きていると叫ばれる時代の中で、1980年の開院以来、急性期医療から長期療養、在宅医療までトータル医療を提供することで地域に貢献されています。今回はスマートフィット採用の経緯から、現在のご使用状況を含めて、看護師長の荒木さん、増本さんにインタビューしました。

あてやすく、モレにくい スマートフィット

スマートフィット導入の 経緯を教えてください。

荒木 「以前からモレに悩んでいて、テープ止めタイプのおむつの中にパッドを何枚も入れて対応していました。患者さんの負担を考えると、おむつ選びやあて方を見直さなければと感じていたんです」



増本 「拘縮のある方におむつをあてる時には、無理に力を入れることもできず、特に苦勞していました。そんな時にスマートフィットを紹介していただきました」

スマートフィットを試された印象は どうでしたか？

荒木 「おむつ全体が伸縮するのであてやすく、職員たちの反応はすごくよかったですね」

増本 「以前は拘縮が強い方だと股関節が屈曲しているのでおむつをあてるのが難しく、どうしても横モレしてしまっていました。でもスマートフィットはうすくて伸縮するので狭い隙間から通すことができ、すごくあてやすいです。きれいにあてることができるようになり、横モレも格段に減りましたね」



あてやすい上にモレにくさも 実感していただけたんですね。

荒木 「そうですね、スマートフィットを紹介

してもらった当初、こんなにうすくて大丈夫なの？と不安がる職員も少なくありませんでした。でもリフレサポーターさんに勉強会をもらって、うすくても正しいあて方をすることで中に入れるパッドの性能を最大限発揮させることができるということを知り、納得しました。これまでパッドを何枚も入れていたことを見直す良いきっかけにもなりましたね」

増本 「ギャザーがしっかりしているから、大きいパッドがきれいに収まるんですね」



荒木 「スマートフィットを使ってから、『うすい＝モレる』という考えはなくなりました。患者さんにとっても、分厚いおむつを使うより負担が小さいと思います。今は拘縮のある方をメインに使わせてもらっていますが、今後はより多くの患者さんに使っていきたいですね」

排泄ケアの質的向上の きっかけに

スマートフィット導入後、 現場でなにか変化はありましたか？

増本 「スマートフィットと合わせるパッドを1枚使うようになって、悩んでいたモレが減り、交換回数も減らすことができたので汚染処理など排泄ケアにかかる手間と時間を削減できたと感じています」



荒木 「職員たちがそういった変化を実感できたことで、自らあて方を工夫したりして、患者さん一人一人にあった排泄ケアをしようという意欲的に取り組んでくれるようになりました」

増本 「スマートフィット導入をきっかけに、職員に作業的にも気持ち的にも余裕ができて、それがより質の高いケアにつながっていくのではないかと期待しています」

待望のSサイズが新発売

スマートフィットに関して、悩まれていることは ありませんか？

荒木 「サイズ選びに関してはまだまだ改善する必要があると思っています。大は小を兼ねるという考えで、なんとなく大きめのおむつを選びがちなんです。スマートフィットMサイズでは小柄な患者さんには少し大きくて…」

実は4月にスマートフィットSサイズを発売 することになりました！

増本 「おお！オレンジ色が春らしくて良いですね！」

荒木 「患者さんには小柄な方も多いので、ぜひ試したいです！スマートラインシリーズはサイズ展開を含め、ラインナップが充実してきましたね。以前スマートキャッチもご紹介してもらって、気になっていたんです」

ありがとうございます！
スマートラインシリーズで合わせて使うことで、よりあてやすさや動きやすさを実感していただけます。ぜひお試しください！
本日は色々とお話を聞かせていただき、ありがとうございました！

